

生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

羽生市立南中学校

令和6年11月28日発行

南中だより 12 月号

「『心のステージ』に立つ」

校長 堀越 成夫

到達度テストが終わりました。暑かった9月からもうすぐ冬休み・・・。長かった2学期が終わりに近づいています。部活動を引退した3年生、2学期の生活はどうでしたか?生徒会役員選挙、新人戦があった9月・・・。2年生へとバトンが引き継がれる学期だったと思います。そして、合唱コンクールでは、各クラスとも、思いのこもった最高の歌声を文化ホールー杯に響かせてくれました。皆さんがんばったことと思います。

クリスマスやお正月が終わるとアッという間に3学期、そして卒業、進級の 時を迎えます。何も大きな取組のない今こそが、生徒の皆さんにとって学習の 充実期だと思います。3年生は入試を控えていますのでわかっていると思いま す。しかし、このことは1、2年生も同じです。まずは生活習慣を見直してみ ましょう。学校生活、家庭生活でメリハリのついた生活になっているでしょう か?ダラダラとその日暮らしになってはいないでしょうか?習慣は第二の天 性とも言います。家庭において学習習慣が身についているでしょうか? 2学 期が終わる今、繰り返し取り組む学習の習慣を見直してみましょう。嫌々やっ ても成果は上がりません。そのためには、自分を磨く気持ちを強く持ってくだ さい。今の君たちは待ったなしの時期です。今が一番成長する時です。自分に 甘えることなく自分の可能性を信じて貪欲に取り組みましょう。そして、その ような習慣や技能(やり方・考え方)が身について初めて『心のステージ』(そ の本質にせまること)に立つことができるのです。そうすれば、学習にしろ、 部活動にしろ、行事にしろ、その道の達人の域に到達します。強い意志やくじ けない心、人に寛容な心などが身につきます。一流のアスリートは周囲への感 謝の気持ちを忘れません。『心のステージ』に立って初めて人としての本当の 強さ、本番に強い人、必ず結果が出せる人になれると思います。

また、君たちが安心して学ぶためには、クラスが友だちの失敗を認めてあげることも大切です。失敗は成功のもとです。「~はだめ」などの否定語は使わ

ない。人の発言を馬鹿にしないことが最も重要です。発表してまちがったら 恥ずかしいと思うのではなく、自分の考えを言わないで済ませてしまうこと の方が恥ずかしいと思ってください。自分の考えを書く練習や最後まで考え をまとめる練習も重要です。学力は、生活をつくる、人生をつくる財産にな ります。人生は判断の連続です。ベストな判断ができるように学習を深めて いきましょう。自分なりの生活計画を立ててみましょう。3学期の始業式で は、また一回り成長した君たちに会えることを楽しみにしています。

12章 会1月

自己啓発の日:12月2日、10日、18日、1月8日 下校指導:12月18日、1月8日